

平成22年度鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成22年8月24日（火） 15:00～16:05

2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

3 出席者

- (1) 委員11人（宇都委員、尾ノ上委員、小森委員、下島委員、萩野委員長、橋之口委員、吹留委員、森委員、森田委員、宮之原委員、吉見委員）
- (2) 事務局9人（総務局長、総務部長、情報システム課長、情報システム課4人）

4 会次第

- (1) 総務局長あいさつ
- (2) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 議事の概要

- (2) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

発言者	発言内容
事務局	（資料に基づき説明）
委員長	進捗が滞っているものについて資料を出しているのは評価できる。ワンストップ窓口は22年度で達成とはなっていないようなので、説明して欲しい。
事務局	ワンストップ窓口で扱う業務・体制について関係各課で調整中です。具体的な中身について今年度中に検討し、システム開発にも着手し、来年度中にはサービス提供を開始する予定です。
委員長	事務組織の変更はありえるのか。
事務局	場合によってあります。規則の変更も含めて検討中です。
委員	費用対効果を精査するとあるが、結果的には必要性がないということにもなるのか。
事務局	その場合もあります。
委員	施策や具体策は検討された上で計画に挙げられているはず。どのような理由で実施がされていない状況なのか。
事務局	マルチペイメントネットワーク対応については、公共施設予約システムでの実際の料金の流れを検証したときに、現実的にすべてのケースに対応することが難しいなど問題もあるので、検討を行っているところです。 図書館のICタグの導入については、導入に係る経費が大きいのに対して、どの程度の効果が見込まれるか疑問があるということで、まだ精査している段階です。どちらも担当課で検討している段階です。
委員長	あと2つの費用対効果精査予定の具体策についても説明して欲しい。

事務局	企業データベースは常に企業の情報が変わっていくのでどう反映していけばよいか検討中です。 ICカードのラピカについては市と民間事業者で行っていることなので、取組が進んでいない状況です。
委員	ブロードバンドの整備が達成済みになっているが、デジタルディバイドは解消されたのか。
事務局	H21年度は3地区（東俣、錫山、黒神）の整備に対する支援を行っています。これにより解消されたと考えています。
委員	図書館のICタグについて、ICタグ導入の費用と人件費削減といった単に費用についてだけの評価か、どういう基準で判断しているのか。
事務局	図書館ではバーコードでの管理はしているので、ICタグを導入することで、現在と比べてどれだけ便利になるのかを含めて検討している状況です。
委員	ICタグは紛失など盗難予防のチェックに利用できるもので、現状の紛失の分析やICタグの導入での効果や、人的削減にもつながるが、人が介在していた以上の効果が見込めるのかなど、そういった面も合わせての検討なのか。
事務局	セキュリティ面の効果や利便性、機能の向上など、そして逆の効果もあるのではないかと考えます。
委員	マルチペイメントネットワークの対応については、休日職員がいない時は対応できない不便さがあるので、そういった面も含めて精査・検討して欲しい。
委員長	費用対効果で精査中のものや、それらを具体策からはずす場合には、来年度はより詳細な説明資料を添付して欲しい。
事務局	精査の結果、具体策から削除する場合は、詳細に報告をさせていただきます。
委員	遊休農地バンクは合併5町などの現状から、農業支援策としては良いものだが、このシステムの利用が農業をする人に限られているのは問題である。一般の人にも利用できるよう、また地目転用も視野に入れた運用を検討して欲しい。
事務局	ご意見を担当課に伝えていきます。
副委員長	観光案内板など、今年度に達成済みとなる具体策については、もう少し詳細な資料が欲しい。
委員	個々の具体策について、成果指標のでているものといないものがある。できるだけ入れて欲しい。
委員	自治体のホームページ(以下「HP」)は地域向けまたは自治体内部向けのよう内容で作られている。もっと観光客向けの内容を充実してよいのではないかと。スイスのHPが参考になる。アクセスを分析することで、求められる度合いの多い言語、情報をより上位に持ってくるなど工夫してはどうか。 また県と市のHPを比較したとき、県のほうが観光用ページの重点内容を中国等外国の国ごとに変えるなど工夫している。市のHPも検討してはどうか。
委員長	新規の具体策として追加してもよいのではないかと。
事務局	観光HPを所管する課に頂いたご意見を情報提供・協議をしていきたい。達成済みのものについても、資料のあり方や目標値の設定について今後検討し、議論を提供できる資料を提供していきたいと考えます。
委員長	一度達成済みとなったものは、その後の追跡調査も次回盛り込んで欲しい。特にその後実績値が落ちたものについては、表記を変えるなど工夫して欲しい。達成済みから落ちたものとしてもよいのではないかと。
事務局	意見を踏まえて資料の作成など工夫していきます。

委員	担当課に数値設定を任せるのではなく、事務局としてある程度の方針もって、協力の要請と提案、シビアな数値の設定を行い、それらの達成度の管理と、達成できないときは翌年度へつなげていくことが必要である。目標と実績の精査を事務局でしっかり行う必要がある。
委員	県のHPに比べて、市のHPは立ち上がりが遅いのではないか。
委員	県のHPは文字での情報提供が多く、画像が少ないからではないか。
副委員長	市はアクセス数が多いからではないか。
委員	表示に10秒くらい掛かる図などはインパクトがあるが、毎回そこを見るには不便である。
委員	県と市とで、今出たようなHPのあり方など情報交換の場はあるのか。
委員	個別事項で情報交換することはあります。
事務局	県内自治体共同でシステム運用を行っている場合もあります。電子申請などがそうです。
委員	成果指標も次回は何らかの形で入れて欲しい。
委員	20、21年度、すでに終わっている部分についても、それらが活用されているのか検証するような資料も必要ではないか。
委員長	本日でた意見を生かして、来年の会議の資料を作成して欲しい。

(3) その他

	(特になし)
--	--------